

我孫子市国民健康保険短期人間ドック 標準検査項目の内容

◇こちらの検査は、すべての実施医療機関の検査コースに含まれます。

◇その他の検査項目は、各実施医療機関の検査コースによって変わります。

検査項目	内容	
問診	診察	結果説明
身体計測	身長	体重
	腹囲	へその高さ周りを測定します。体脂肪には、皮下脂肪と内臓脂肪があり、内臓脂肪が過剰にたまると、体重が適正でも、糖尿病や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こしやすくなります。
	体型指数 (BMI)	BMIは身長に見合った体重かどうかを判定する数値です。 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出します。18.5未満だと低体重、25.0以上は肥満と判断されます。
循環器	血圧測定	高血圧のチェックをするための検査です。食事、肺活量、疲労度、緊張、興奮などいろいろな生活条件で変動します。
脂質検査	中性脂肪	体内の中でもっとも多い脂肪で、食べ過ぎ、飲み過ぎなどで高くなり、肥満の原因になります。数値が高いと動脈硬化を進行させます。
	HDL コレステロール	別名「善玉コレステロール」。血液中の悪玉コレステロールを回収します。数値が低いと脂質代謝異常、動脈硬化が疑われます。
	LDL コレステロール	別名「悪玉コレステロール」。増加すると血管の内側に付着してたまり、動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性を高めます。
肝機能 検査	AST (GOT)	AST (GOT) は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素です。 ALT (GPT) は、肝臓に多く存在する酵素です。 数値が高い場合は肝臓の病気が疑われます。AST (GOT) のみが高い場合は、心筋梗塞、筋肉疾患などが考えられます。
	ALT (GPT)	
	γ-GT (γ-GTP)	胆道系の肝臓障害を調べます。特にアルコールによる肝機能の障害があると急激に上昇します。
腎機能 検査	クレアチニン	腎臓の機能に異常がないかどうかを調べます。筋肉量が多いほどその量も多くなるため、基準範囲に男女差があります。
	eGFR	クレアチニンより精度の高い腎機能の指標です。血清クレアチニン値を年齢および性別・身長で補正して算出します。 60mL/min/1.73m ² 未満が3ヶ月以上続く場合は、慢性腎臓病 (CKD) と診断されます。
血糖検査(糖代謝)	血糖値	糖尿病を調べる検査です。測定された数値により、ブドウ糖がエネルギー源として適切に利用されているかがわかります。
	HbA1c	食事の影響をあまり受けずに糖尿病の診断ができる検査法です。約1ヶ月間にわたる平均的な血糖の状態がわかります。
尿検査	尿糖	尿に糖が出ているかどうかを調べ、糖尿病の診断に役立ちます。
	尿蛋白	尿に蛋白が出ているかどうかを調べ、腎臓等の異常を知る手がかりとします。
貧血検査	ヘマトクリット値	一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものです。数値が低ければ鉄欠乏症貧血、高ければ多血症、脱水などが考えられます。
	血色素量	赤血球に含まれる蛋白質と鉄から作られたもので、肺と酸素と結びつき全身に運んでいきます。減少している場合、鉄欠乏症貧血などが疑われます。
	赤血球数	肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺へ送る役目を担っています。赤血球の数が少ないと貧血が疑われます。
心電図検査	心電図	心臓の筋肉に流れる電流の変化をとらえて、心臓の筋肉や脈の異常、心臓に酸素を送る冠動脈硬化の有無などを調べます。
眼科検査	眼底検査	肉眼で唯一、動脈の状態を観察できる場所で、高血圧や動脈硬化の程度を調べます。